

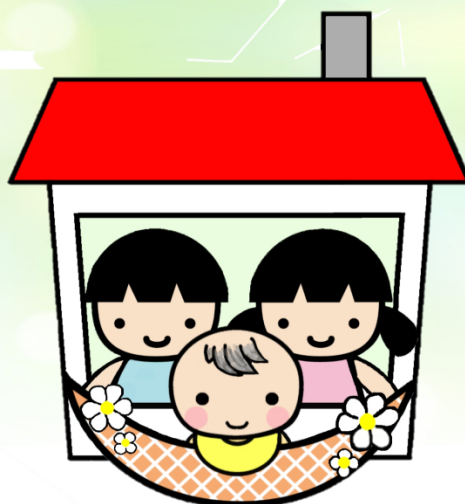
先輩ママと助産師と小児科医が創る 乳幼児親子の居場所事業報告書

『はんもっくのおうち』 立ち上げを中心に



山井助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



NPO 法人はんもっく

代表 福井聖子

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| はじめに..... | 1 |
| I. 事業概要 | |
| 事業の目的・方法・期間・場所..... | 1 |
| 事業の結果 | |
| 柱立て1：街の実家事業..... | 2 |
| 柱立て2：赤ちゃん広場リンクル..... | 8 |
| 柱立て3：支援者研修..... | 9 |
| 柱立て4：高校生との交流授業..... | 10 |
| 柱立て5：イベント 赤ちゃんフェスタみのお..... | 12 |
| II. 今年度の成果 | 14 |
| III. 今年度の課題と今後に向けて | 15 |
| おわりに..... | 17 |



はじめに

令和2年度から、WAM助成を受け、0～1歳児親子への子育て支援事業を開始しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返されるなか、参加を募ることができず参加人数は増えませんでした。令和4年度は6月下旬から8月の第7波において小児の感染者数増加で学校・幼稚園の休校・休園があったものの、ワクチン接種の普及もあり、生活の制限は前年より緩和されました。約3年に及ぶ対人の接触制限により、実感として孤立する親子は増加したのですが、逆に人と出会わないことへの親世代の危機感も強い印象があり、徐々に参加者数は増加し、出会いの場は求められていると感じました。

また、令和4年5月から箕面市の産後ケア事業の受け入れも始まり、そこで出会った親子が継続して参加されることも増えました。はんもっくのおうちに参加された親子が、おうち以外での未就園児親子を対象とした活動へ参加されるようになり、産後からの切れ目のない支援が形となってきました。まだまだ質・量ともに微々たる活動ですが、今後の支援に向けて土台となる令和4年度だったように思います。ポストコロナに向けて支援を加速させることを意識して、1年間を振り返ります。

I. 事業概要

【事業の目的】

1. 0～1歳の子育ての重要性の理解を図り、実践的体験の場と機会を創る
2. 子育てを楽しみながら手間暇をかける創造的な営みとして、誇りを持てるように支援する
3. 産後ケア事業、乳幼児期の子育て支援をより良い形にするための実践モデルを創る

【事業の方法】

箕面市内の戸建住宅「はんもっくのおうち」を支援の場として「家庭的環境」を作り、産後の親子の支援を行った。時間枠や対象を限定しない無料オープンスペースと有料の子育て講座や相談などを提供し、ネットなどからの簡単な予約のみで参加可能とした。助産師は週3日常駐、小児科医の相談は適宜行った。オンラインテマートを月3回開催した。スタッフは、研修を行い、アルバイト待遇と有償ボランティアとした。

その他、箕面市内2箇所での0歳児対象の子育て広場リンクル、スタッフ研修、大阪府立箕面東高校における乳幼児親子と高校生の交流授業に加えて、箕面市内の子育て支援団体と協力して、0歳児親子対象のイベント『赤ちゃんフェスタみのお』を開催した。

新型コロナウイルス感染症対策は前年度と同様に継続した。

【事業の期間と場所】

1. 産前・産後から未就園児の親子の居場所：街の実家事業

令和4年4月7日～12月26日、令和5年1月10日～3月24日

この期間の火～金曜 10時～15時 計190日950時間

場所：はんもっくのおうち（箕面市今宮3丁目28-1）

2. 赤ちゃん広場 リンクル

令和4年4月～令和5年3月の期間 月2回計19回

場所：箕面文化・交流センター（箕面市箕面6丁目3-1）・小野原多世代地域交流センター（箕面市小野原東6丁目15-46）の2箇所

3. 支援者研修

令和4年5月・6月・7月・12月・令和5年2月の計5回 スタッフ研修

場所：はんもっくのおうち・オンライン併用

4. 高校生とのふれあい授業

令和4年5月31日～令和5年2月7日 計9日

場所：大阪府立箕面東高校（箕面市粟生外院5丁目4番63号）2階総合実習室

5. イベント 赤ちゃんフェスタみのお（赤ちゃん集まれ！）

令和4年10月29日（土）10時～15時30分

場所：箕面総合保健福祉センター（箕面市萱野5丁目8-1）

【事業の結果】

柱立て1. 街の実家事業

表1に示すように、今年度参加者は増加し、1日平均3.5組で昨年度の1日平均1.2組の約3倍となった。

2020年10月開始後から2023年3月までの月別参加組数を図1に示した。2023年度当初は前年度よりやや少なかったが、6月は過去最多で、夏はやや少なくなったが、冬になると再度増加に転じ、昨年度・一昨年度を上回った。

表1. 開催日数と関わった人数

| 月 | 開催数 | スタッフ人数 | 助産師人数 | 子ども参加者数 | 大人参加者数 |
|-----|-----|--------|-------|---------|--------|
| 4月 | 13 | 57 | 10 | 14 | 14 |
| 5月 | 14 | 73 | 12 | 34 | 33 |
| 6月 | 18 | 98 | 17 | 72 | 73 |
| 7月 | 17 | 78 | 14 | 58 | 61 |
| 8月 | 17 | 72 | 16 | 49 | 47 |
| 9月 | 17 | 83 | 16 | 65 | 64 |
| 10月 | 16 | 82 | 14 | 53 | 52 |
| 11月 | 16 | 78 | 12 | 62 | 57 |
| 12月 | 14 | 72 | 13 | 55 | 54 |
| 1月 | 14 | 67 | 13 | 69 | 61 |
| 2月 | 18 | 93 | 6 | 80 | 76 |
| 3月 | 16 | 73 | 16 | 81 | 77 |
| 合計 | 190 | 926 | 159 | 692 | 669 |

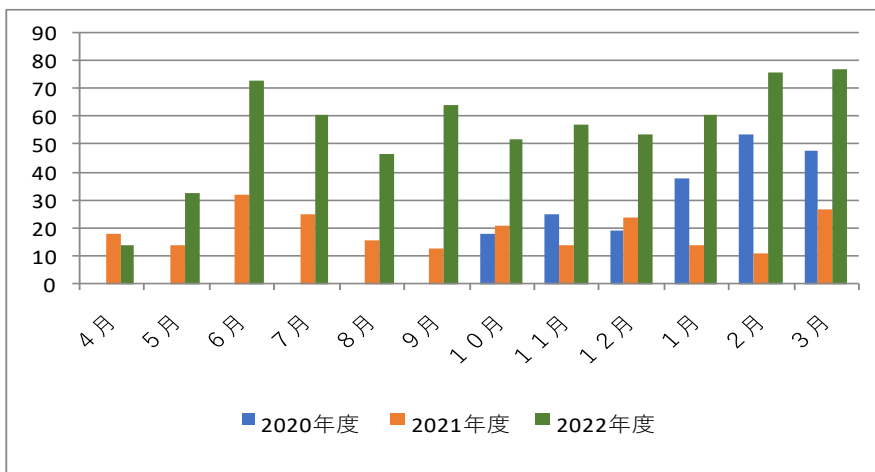


図1. おうちの参加者数
月別推移
(2020年10月～2023年3月)

参加者は、午前参加 332 組、午後 181 組と午前が 1.8 倍多く、特に 8 月は差が顕著であった（図 2）。

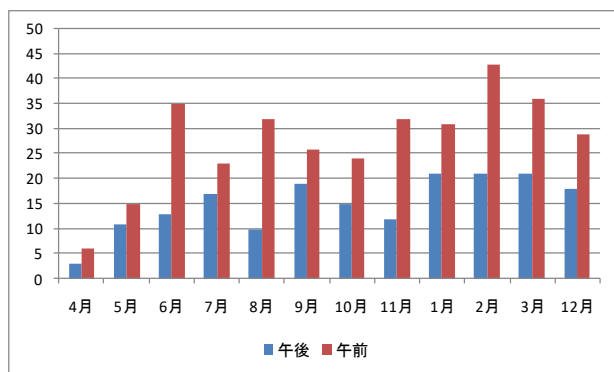


図 2. 午前と午後の参加者数

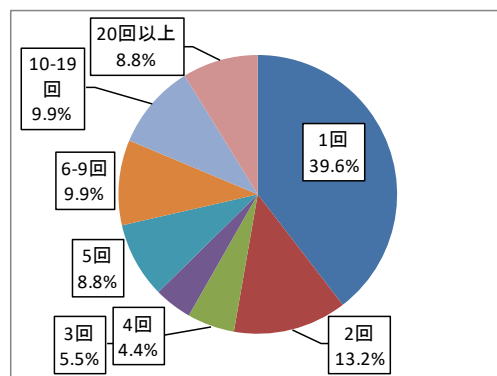


図 3. 参加回数

同じ親子の参加回数は、図 3 に表すように 1 回が 4 割と最も多いが、6 回以上が 4 分の 1 以上を占め、最高は 44 回であった。参加者の子どものきょうだい関係では、第 1 子が 60.4% と最も多く、第 2 子で上の兄弟と一緒にの参加が 10 組、双子が 2 組あった（図 4）。第 2 子では第 1 子より 1 回だけの参加が多かった（図 5）。

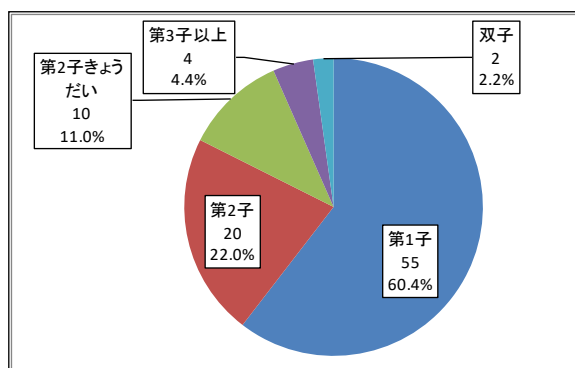


図 4. 参加した子どものきょうだい関係

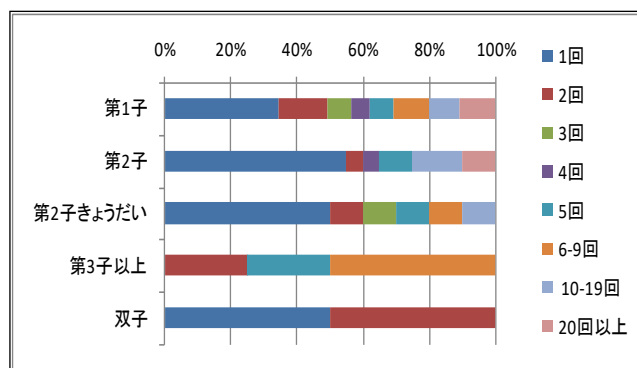


図 5. きょうだい関係と参加回数

初回参加時の月齢では産後ケアを機会に参加した 2 か月児が最も多く、申込では 5 か月児が最も多かった。月齢と令和 4 年度中の参加回数をクロス集計すると、低月齢、特に産後ケア児と 12 か月以上で参加回数が多かった（図 6、図 7）。

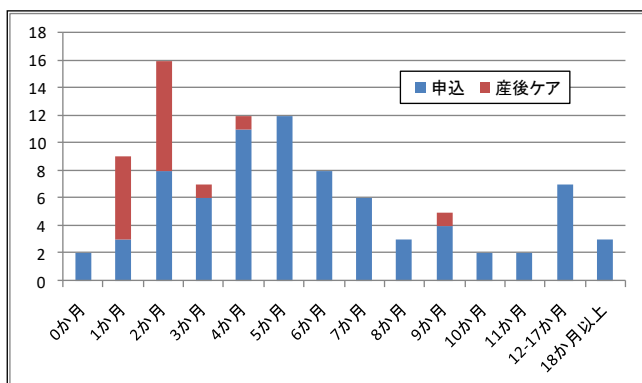


図 6. 初回参加時の児の月齢

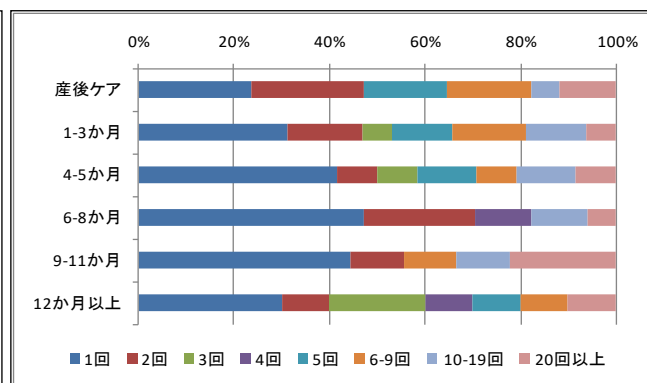


図 7. 月齢と年間参加回数のクロス集計

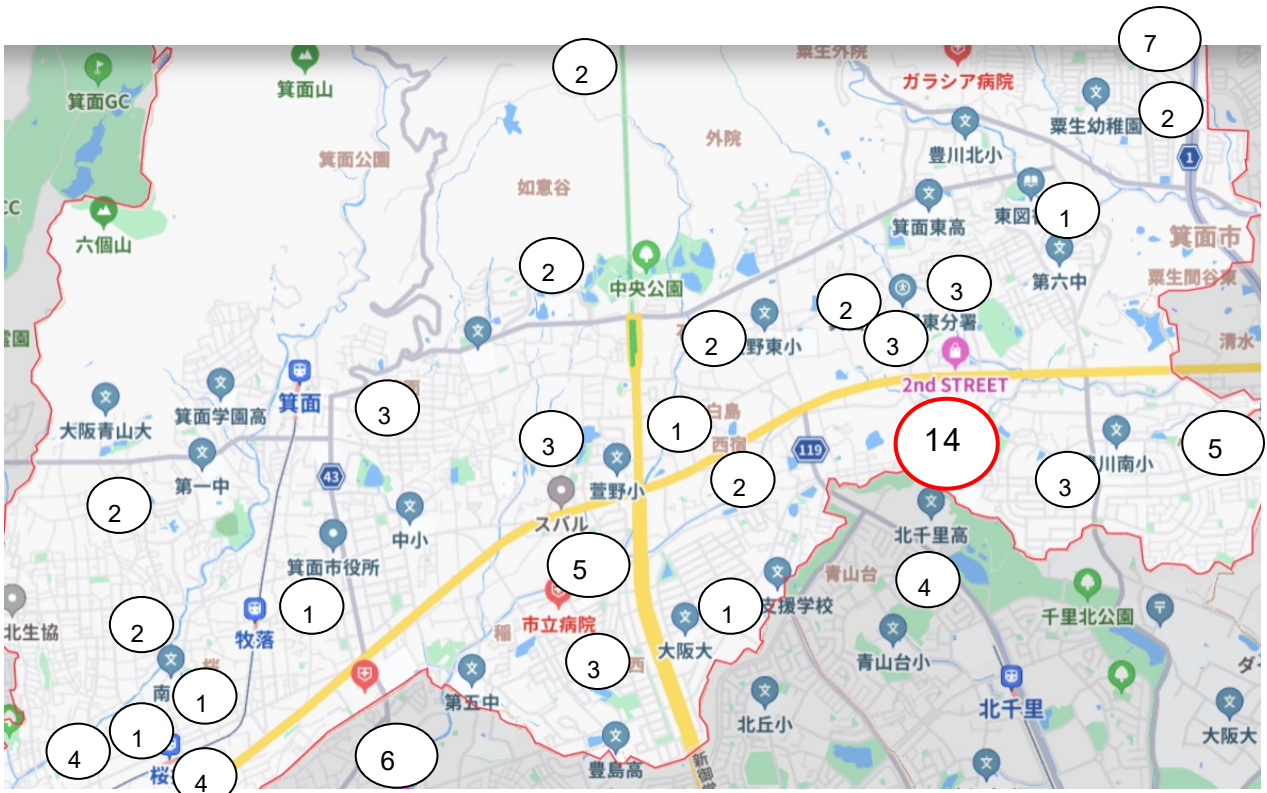


図 8. 箕面市内の地図と各町の参加者数 箕面市外：豊中市 6、吹田市 4、府外 2

参加者の住所地は、図 8 に示すように、おうちのある今宮から 14 組、その後は広く各町から参加していた。

参加者の交通手段は、車が約 6 割と最も多く、次いで徒歩が約 3 割を占めた。バス・タクシーでも複数回参加の親子もいるが、車と徒歩では参加回数はほぼ同じパターンで、移動しやすい形と考えられた（図 9、図 10）。

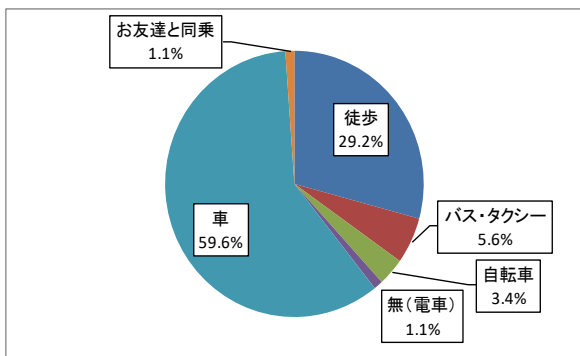


図 9.参加者の交通手段

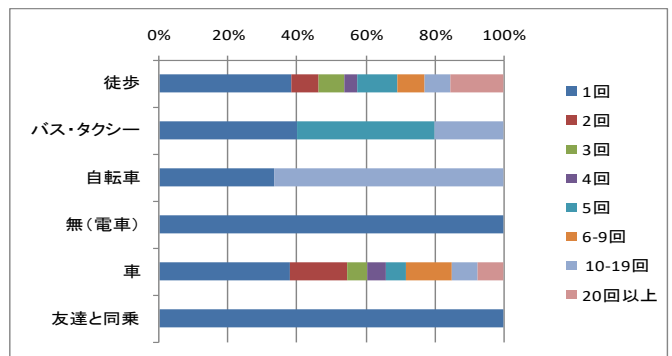


図 10. 交通手段と参加回数のクロス集計



敷地入口の案内板→

←ホームページに
おうち前駐車場の案内



参加者には、入場の時と帰宅前にアンケートを依頼している。図 11 は、入場時にその日の気分を 3 点について選択肢を提示して質問した回答の集計である。おしゃべりの方が相談・学びよりやや積極的な意見が多い。子どもと離れるかどうかについては極端な意見は少なかった。実際にオープンスペースで過ごしているときの状況では、これらの意見が強く反映されることは少ない印象がある。複数回参加の場合でも、これらの意見が大きく変動することはなく、若干の日差があるといった程度であった。

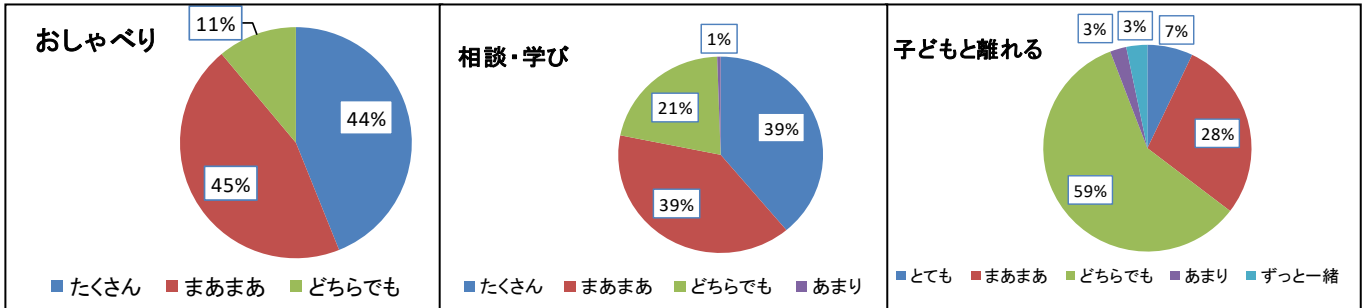


図 11. 入場時アンケート：今日の気分の結果 (n=551)

帰宅前アンケートでは、とても楽しかった 96%、まあまあ楽しかった 4%、あまり楽しくなかった 0%と好評であった。一緒に過ごす場での回答では批判的な意見が出ることは少ないが、記述も親子ともに楽しめたといった内容や感謝の言葉が多く、参加者に対して活動目的は果たせていると評価している。次ページには記述の抜粋を記載する。

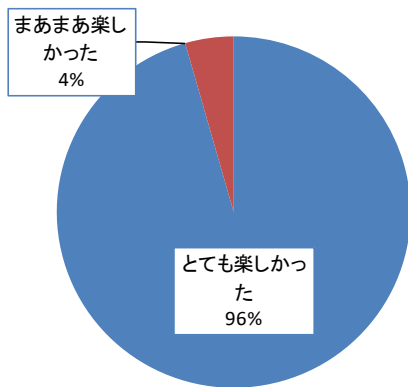


図 12. 帰宅前アンケートの結果

オープンスペース以外に図 1 に示す講座や相談や企画がある。初回参加者には希望を聞いているが、その時点で希望されるものと実際の申込には乖離がある。



← お部屋の様子

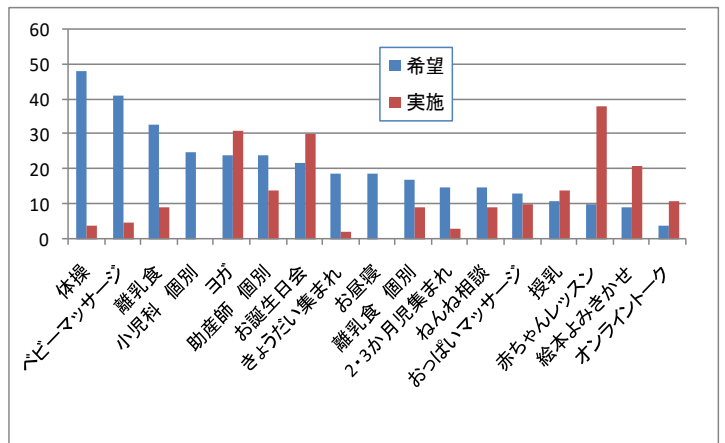


図 13. 講座等に関する入場時希望と実施数

記述抜粋

*たくさんの方にフォローしていただきながら
マッサージに参加出来て良かったです。
ありがとうございました。

*いつもワンオペなのでとても楽しかったです。
スタッフさんが親切で子供もたくさん遊んで頂き
ありがとうございました。助産師さんのお話も
ためになりました。



*いつもありがとうございます。最近公園とかに行くと ↑ 助産師さんとストレッチ
人とお話することがすくなかったのでリフレッシュできました

*おっぱいマッサージしてもらって楽になりました。ありがとうございました。



*大変勉強になりました。哺乳瓶の乳首は変えてみようと思います
*悩みを話せて楽しかったです。

*発達についてたくさん聞けたので良かったです

*綿棒の持ち方など教えてもらえてよかったです。

*夜間の授乳についてアドバイスいただきました。

*有益な情報をたくさん教えていただき、ありがとうございました

↑ 赤ちゃんレッスン *子供達もとてもたのしくあそんでいたものであり
ありがとうございました。はじめて来てとても良かったです。先生もたくさんお話し
くださりとてもためになりました。また来たいです

*きょうだいそろって楽しく遊ばせてもらえてよかったです。

*きょうはコチラに来て悩みを相談できて本当に良かったです。ありがとうございました

*ずっと気になっていたものの、初めての利用でした。もっと早くに来たかったです。また利用
できればうれしいです

*スマホで 30~40 分仕事できるような環境があれば利用させてもらいたいです。娘は安心
して遊ばせていただきました。

*たくさん抱っこしてもらって嬉しそうでした。ありがとうございました。

*抱っこしてもらえてうれしかった。実家に帰ったようでホットできましたありがとうございました
います。



↑ ベビーマッサージ

*たくさんのお話を聞くことが出来てとても参考に
なりました。時間があっという間に過ぎました。
またこのような話す機会があれば参加したいと
思います。

*とても楽しくて離乳食のことで悩んだり、成長の
ことや遊ぶことに対しての不安があったりしていま
したが、解消出来ました。

*ねんね相談講座、その後びよログも見ていただきありがとうございました。なんとかやっ
てみます。いつも明るく親切なスタッフさんに助けられてます。ありがとうございました！

- * パパの集まりがあると楽しく交流できるかと思えます。
- * 絵本読み方、おもちゃのおススメ、楽しかったです
- * 絵本の回だとは知らずに来ましたが、とてもためになりました。スタッフさんも講師の方も親切でお話がわかりやすく、とても良かったです。
- * 色々な遊び方を教えてもらえるので良かったです
- * 楽しかったです。家にはないおもちゃで遊べて良かったです。ありがとうございました。
- * 息子も楽しそうに遊んでいて見ていて私も楽しかったです。ありがとうございました。
- * 久しぶり 2 回目の訪問だったのですが、皆さん親切で明るくて楽しかったです。ありがとうございました。



↑ 絵本の読み聞かせ



↑ 赤ちゃんのママも絵本に興味津々

- * 久々にワイワイしてたのしかった
- * 人数たくさんで楽しかった。
- * 今日はスタッフの方が多くてたくさん遊んでもらえてよかったです。
- * 今日は少人数でとてもよかったです。楽しくお話してくださりありがとうございました。ネットレのこと昨日の東高校のこともしっかり話せて有意義でした。また来ます。

- * 昨日も来ましたが、今日はまた違って楽しめました。スタッフさんにいつも親切にしてください嬉しかったです。ありがとうございました。
- * 写真手形などとれて楽しかったです。ありがとうございました。
- * 大人のひととしゃべる機会があってとてもたのしかったです
- * 誕生会のフレーム入り台紙を作るのがとても楽しかったです。素敵な消しゴムハンコやマステ、使わせていただいてありがとうございました。
- * とても楽しかったです。ハーフバースデーのお祝いが出来てうれしかったです。ありがとうございました。
- * 同じ月齢のお子さんが多くて楽しく過ごせました
- * 運営大変なこともあると思いますがとても助かります。ありがとうございます。



お誕生日会
フレーム台紙
作り



お誕生日・ハーフバースデーでは四季折々の背景で写真撮影

柱立て2. 赤ちゃん広場 リンクル

市内2箇所各1時間開催。赤ちゃん体操とベビーマッサージを交互に行った(表1)。全体として少人数であったが、近隣から徒歩で来られ、中におうちにも参加される親子もいた。

今後は、参加者増を図りたい。時間は、コロナ禍で1時間としていたが、ゆっくりおしゃべりできるように、30分延長を検討中である。

| | 日数 | 参加組数 |
|-----|----|------|
| 4月 | 1 | 7 |
| 5月 | 2 | 7 |
| 6月 | 2 | 7 |
| 7月 | 2 | 6 |
| 9月 | 1 | 2 |
| 10月 | 2 | 5 |
| 11月 | 2 | 4 |
| 12月 | 2 | 4 |
| 1月 | 1 | 0 |
| 2月 | 2 | 5 |
| 3月 | 2 | 3 |
| 合計 | 19 | 50 |



↑赤ちゃん体操 スクワットは泣き対策も



赤ちゃん大好き、ヒコーキ

↓ベビーマッサージ



全身も、足の指も



～りんくる～
赤ちゃん広場 Linkle
0歳児プログラムとその保護者向け

はんもっくのおうち

第3回
13:30～14:30
赤ちゃん体操
3月15日
4月19日

第4回
ベビーマッサージ
3月22日
4月26日
13:30～14:30

会場 はんもっくのおうち 今週3回目

ママが行う小児はりレッスン 簡単ツボ講座付 3月15日
10:15～11:15
楽しく継続できなくて、
おにぎりとお茶の準備を片付けて、急におひらき全席に涙を流すママもいます。子どもをリラックスさせるには、おんぶや抱っこが効果的です。お話を聞いてママの悩みを解決します。

第1会場 小野原
3月3日 赤ちゃん体操
4月7日 ベビーマッサージ
会場 小野原多世代交流センター

第3会場 みのおサンプラザ
3月17日 ベビーマッサージ
4月21日 赤ちゃん体操
会場 舞臺文化交際センター
サンプラザ1号館2階和室

時間 ①はんもっくのおうち 13:30～ ベビーマッサージ13:00～
②小野原 ③サンプラザ 10:00～11:30

料金 500円 ※小児はりレッスン 1000円

対象 ①0歳 ②1歳 ③2歳 赤ちゃん体操OK

内容 赤ちゃん体操・ベビーマッサージ・小児はりレッスン
おしゃべり時間コーナーなど

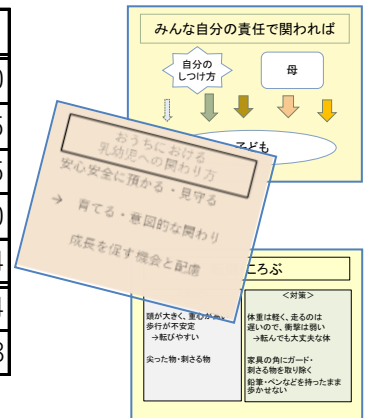
※参加人数・参加内容により変更・調整いたします。
※お申し込みは、マスク着用の上、体調不良の場合は参加を自粛してください。
※予約は開催の2週間前以内の、ご予約お受け下さい。
※お申し込み後2週間以内に入場券が到着します。お申し込み後2週間以内の到着を待っています。

案内チラシ

柱立て3. 支援者研修

今年度は内部講師によるスタッフ研修を5回行った。座学は当日現地とオンライン参加、録画配信も行い、子どもや家庭生活によって時間的・場所的制約のあるスタッフとの情報共有が可能となった。

| 月日 | 内容 | 方法 | 参加者数 |
|------------|---------------------|--------|------|
| 5月16日 | 赤ちゃん抱っこことねね講座より | 録画視聴 | 10 |
| 6月13日 | 赤ちゃんへの関わり方 | 現地+WEB | 5 |
| 7月25日 | 赤ちゃんへの関わり方2 動き出してから | 現地+WEB | 5 |
| 12月12日 | 子どものケガ・事故への対応 | 現地+WEB | 10 |
| 2023年2月13日 | 子ども同士のもめごとに、どう入るか | 現地+WEB | 14 |
| 合計 | | | 44 |
| 平均 | | | 8.8 |



研修終了後アンケート（6月13日を中心に）

- * 8ヶ月～1歳は助産師としてはどうしても苦手分野です。不安あつての安心というお話はとても腑に落ちました。産後ケア利用の赤ちゃんに関してみんなの意識統一が出来そうで良いお話でした。
- * おうちに来て泣いたりする子や、人見知りの子の対応、今後実践したいと思います。その他の事も、なんとなくやってはいましたが、理論的なお話を聞いて、より理解が深まったと思います。
- * 赤ちゃんへの接し方、ママさん対応、改めて気づきや学び、いっぱいでした。
- * お話を聞いて改めて声かけが子供の成長に大切なことだと思いました。今日学んだ事を活動に活かせればと思いました。記憶新しいうちに、遊びに来てくれた子供達に試してみたいと思います。
- * 赤ちゃんにも、お母さんにも丁寧な関わり、声かけ。そして、各家庭での求める事や着地点、ゴールはそれぞれあって良いという事も忘れないように関わらせて頂きたいと再確認できました😊
- * 赤ちゃんへの関わり方は、今までこれでよかったと思うこととこれからこうしようと思うことがいくつかあってよかったです。
- * 保育士の勉強をしていた頃を思い出しました。このような研修があるのは、すごいと思います。絵本の読み聞かせや赤ちゃんヨガなど、お役に立てることもまた紹介したいです。
- * 福井さんから以前聞いた内容も、再度聞くと、また、再認識もでき、とてもよかったです。
- * 赤ちゃんは月齢に関係なく「ふれあい遊び」がとても大切と改めて感じました。「目を合わせる」「触れる」「声をかける」がポイントで、これらを併せる事で赤ちゃんの心が育つ→心が豊かになる→相互に愛情が深まる、に繋がっていくんだなあと思いました。また、お話から息子が極度の人見知りで、無理に話しかけられたり目を見つめられる事を嫌がっていたことを思い出しました。周囲をよく観察しながら「この人なら安全&安心」と認識してからでない私の膝から離れる事はありませんでした。同様の赤ちゃんが来られた際は、まずはママと会話をしていく中で赤ちゃん自身が遊びに興味を少しずつ示してくれた頃を見計らい声がけと言うアプローチをしていこうと思います。
- * 小さな赤ちゃんは反応が薄く近くしか見えてないのでわかっていないように思うかもしれないけれど、カラフルな絵本や笑顔を見せてあげたり、いっぱい話しかけることが大事と改めて確認できました。音楽が集中力に関わる事もこの研修で初めて知り、時と場合によって使い分ける必要がある事を学びました。自分の育児の頃は赤ちゃんの反応もいまいちだと不安でいっぱいでしたが、知識を身につけ1つ1つのことが確認できてスキルアップできるのでよかったと感じています。

柱立て 4. 高校生との交流授業

生命を考える授業と社会福祉入門の授業を行った。

各回、定番プログラム：1. あひるのダンス 2. 手遊び 3. お名前呼び 4. 親子遊び を行い、次に、日替わりプログラムで2グループに分かれ、①こどもたちとの遊び ②話し合いを行なった。

今年度は、学生が主体になるよう簡単なシアターや手遊びなどを依頼し、期待に応えて取り組んでもらった。

| 月日 | スタッフ | 参加人数 | 日替わりプログラム | 話し合いのテーマ |
|------------------|--------------|-----------------------|---------------------------------------|---|
| 5月31日 生命を考える | 当団体4 +教諭2 | 参加2組子ども3 2年生学生12 | 遊び：こいのぼりを作ろう | 名前の由来 今ハマっていること |
| 6月14日 生命を考える | 当団体4 +教諭2 | 参加3組子ども4 3年生学生12 | 遊び：魚釣り・パック積木 準備：牛乳パック電車 絵本読み聞かせ | いつもカバンに入ってる物3コ こどもができてかわったこと。 高校生になってかわったこと |
| 7月12日 生命を考える | 当団体3 +教諭2 | 参加1組子ども計1 2年生学生12 | 遊び：コマを作ろう | 家族に手伝ってもらいたいこと 出産のお話 |
| 9月13日 生命を考える | 当団体4 +教諭2 | 参加4組子ども5 3年生学生12 | 遊び：新聞紙遊び 新聞紙ボール・ステッキ | 出産のお話 |
| 10月25日 社会福祉入門 | 当団体4 +教諭2 | 参加3組子ども計4 社会福祉科学生6 | 遊び：ハロウィンマント作り | マザーズバッグ中身拝見 育児で大変なこと 学生さんが大変なこと |
| 11月8日 生命を考える | 当団体3 +教諭2 | 参加5組子ども計7 3年生学生6 | 遊び：トンボ作り | 食べ物：好きな物嫌いな物 授乳食事で大変なこと・工夫 |
| 12月13日 生命を考える | 当団体4 +教諭2 | 参加3組子ども計4 2年生学生6 | クリスマス会 | 今欲しいもの・今したいこと |
| 1月24日 生命を考える | 当団体4 +教諭2 | 参加6組子ども計7 3年生学生12 | 牛乳パック羽子板にお絵描き、 シールはり | 一年間の感想 (3年生最後の授業) |
| 2月7日 生命を考える | 当団体4 +教諭2 | 参加3組子ども計4 2年生学生8 | 雪だるま工作 | 一年間の感想 |

子どもたちが学生の手伝いで&学生といっしょに

簡単な工作↓

遊び↓



<学生の感想より>

- * こどもたちがとてもかわかった。
- * 今まで小さい子と遊ぶ機会がなかったので 楽しかった。
- * 親の大変さ、苦しさ、辛さ、幸せさ色んな感情を知れた。
- * 前回つかりまり立ちだった子が今回立てるようになっていて成長をみることができよかった。
- * 気になったことをずっとしてたり 突然あきたり、予想外のこどもたちの行動が面白く楽しかった。
- * お母さん方のお話をきいて大変さが伝わりました。とてもいい機会でした。
- * 一年で経験したことを保育士になるために役立てたい。こどものことを色々知れた。
- * 一年間こどもたちと触れあったが自分の思い通りなかなかいかなかったの、毎日相手をしているお母さん方はすごいと思った。



<お母さんの感想より>

- * 学生さんと接することで子どもには大きな刺激になり、離れて遊ぶこともできるようになり、成長できてよかった。
- * 一生懸命こどもたちと遊んでくれる学生さんに感謝、とても嬉しかった。
- * 自分の世界で遊んでいた息子が生徒さんの中にも行けるようになり成長を感じた。
- * 色々な人とふれ合うのは息子にとっても良い機会になりました。
- * 刺激があり、夢中になって遊び、帰宅後ぐっすり眠ってくれるので助かりました。
- * 母のリフレッシュにもなりました。次年度も開催してほしい。



<スタッフの感想より>

- * 今年度はシアターコーナーを一緒にしてもらいました。数分の打ち合わせのみでの本番。上手下手でなく一生懸命取り組んでくれる姿が嬉しく、こどもたちも楽しく見てくれました。人見知りのお子さんがママから離れて遊べるようになったり、学生さんがこどもたちの成長過程に気づけたり、育児中の親御さんの喜怒哀楽を知れたり、と一年を通して授業を行うことに意義、成長、発見があるのだと改めて気づかされました。コロナ禍の中授業にご理解ご協力下さった親子の皆様、本当にありがとうございました。



- * 授業を通して、生徒の皆さんも自分が愛されて育ってきたと感じられたことでしょう。絵本は、年齢に関係なく楽しめるもの共有することを心掛けてきました。読み聞かせの場では、生徒たちだけでなく大人の皆さんも心の声を素直に口に出してくれていた光景が印象的でした。

柱立て5. 赤ちゃん集まれ→『赤ちゃんフェスタみのお』開催

開催日程 2022年10月29日(土)

- 開催時間 10:00～15:30
- 開催場所 総合保健福祉センターライフプラザ
- 実施内容 ふれあい遊び・講座・お楽しみコーナー等
- 実施目的 妊婦・赤ちゃんのパパママ・祖父母に支援を紹介し、
出会う場に出かける気持ちや人に頼る気持ちを持てるようにする。
企画段階で支援者同士の交流を深める。
- 対象 0才児のパパ・ママ・祖父祖母・妊婦
- 後援 箕面市教育委員会・箕面市社会福祉協議会・箕面市医師会
- 参加団体 子育て支援センター・大阪府助産師会三島・豊能地区箕面班・箕面市社会福祉協議会
みのお市民活動センター・市民活動フォーラムみのお・子どもすこやか室・箕面市民生委員児童
委員協議会・個人教室 le lien (町のOT作業療法士)・NPO法人「絵本で子育て」センター・
コープこうべ・おはなしてぶくろ・MerryTime・NPO法人学遊



| 2階 入場料100円 |
|---|
| ママのためのヨーガ ￥500 |
| ベビーマッサージ ￥500 |
| 赤ちゃん体操 ￥500 |
| 寝相アートコーナー |
| 相談コーナー (助産師) |
| 相談コーナー (小児科医) |
| 相談コーナー (産婦人科医) |
| 離乳食講習会 |
| じいじ・ばあばのための子育て講座 【作業療法士によるグループワーク】 親子コミュニケーションとおもちゃ選び ～赤ちゃんの表情から読みとろう 【助産師によるグループワーク】 |
| カードゲームでコミュニケーション ～プレママパパとママ・パパの想い |
| 赤ちゃんの身体測定 (身長・体重) |
| 抱っこ紐チェック |
| 読み聞かせ&シアタールーム |
| 手形スタンプ |
| おさがり服交換会 |
| プレイコーナー (おもちゃ自由あそび) |

| 参加者 | 参加者数 | 所属 | スタッフ数 |
|-----|------|-------|-------|
| 大人 | 73人 | はんもっく | 21人 |
| 子ども | 60人 | 参加団体 | 32人 |
| 親子 | 52組 | 合計 | 53人 |

| 1階 アトリウム |
|-----------------------------|
| 手作りおもちゃ |
| サンプル配布と活動紹介 |
| 妊娠中と子育て世代のための健康コーナー (すこやか室) |
| 子育て世帯の防災グッズ展示と活動紹介 |
| 赤ちゃんの身体測定 (身長・体重) |
| 季節の記念写真コーナー (はんもっく) |
| 一目でわかる! 箕面子育て支援MAP (情報編) |
| 一目でわかる! 箕面子育て支援MAP (地域編) |
| NPO活動紹介コーナー |
| ためになるチラシ配布コーナー |



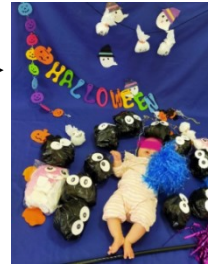
来場者参加者アンケート

●参加者アンケート回収数 14件

14件中楽しかったとの選択が14件。

よかったコーナーという項目にも、複数選択が多く、回収できた中では満足度が非常に高かったことがわかる。寝相アート・プレイコーナー・手形スタンプへの評価が高かった。フリースペースがあったこと、きょうだいとともに楽しめる場であったことが評価に繋がったと思われる。

寝相アート→



●参加団体・スタッフアンケート

スタッフ側の意見としては反省点が多く出たものの、70%のスタッフから他団体との交流が図れたとの回答。また同様に来年度の開催を望む声もあり、当初の実施目的「支援者同士の交流を深める」は達成した。課題としては、広報面や時間調整などに声が上がった。

●課題

当日の流れやアンケートなどから見える課題としては、以下の事柄があげられる。

- ・アンケートの回収率を上げる。
- ・それぞれのプログラムの時間の調整。
- ・他団体との連絡を密にする。（事前打ち合わせ、当日のやり取り等）
- ・1階2階等、会場内での連絡・案内を密にし、流れを作るようにする。
- ・広報方法・期間等を考える。

●総括

初めての試みではあったが多くの家族の参加があり、箕面市内の子育て支援について知ってもらえるいい機会となれた。なかなか他人から声を掛けられることの少ない時世であるからか、いろいろな人に声をかけてもらえてよかったという意見が印象的だった。また通常行っているプログラムには行けなかったという人が今回初めて参加できたと喜ばれており、お試し参加という形から継続的なお出かけに繋がることも期待できる。

今年度の課題を見直し、箕面市内の子育て支援を更に広く知ってもらい、周りとともに子育てをする環境が受け入れられるよう来年度に向けてさらに連携を図っていきたい。



↑赤ちゃん体操

作業療法士のグループワーク→



↑おさがり服交換会

Ⅱ. 今年度の成果

一昨年度から3年間の助成を受けて、活動を重ねてきた。この間、コロナ禍で人と接触することを避け、孤独な子育てをしていた人は多かったと感じる。里帰り出産でも祖母は仕事で日中不在、実家でも母子だけで過ごし、孤独に耐えかねてオンラインに参加した人もいた。寝返りやはいはいなどの発達が遅い、離乳食を食べないなど悩みながら、どうしていいかわからないまま時間を過ごしてきた人もいた。この「どうしていいか」に應えるため、赤ちゃんレッスンを開始した。

2～3か月児対象、6～8か月児対象に、それぞれ3回シリーズの講座を開催した結果、「親が、目の前の赤ちゃんの今にどう行動すればいいか」「赤ちゃんは次にどのように成長し、どういった働きかけが今後はどう伝わるのか」保護者に伝えるための方法を開発するようになった。さらに、1歳児対象のコースも新たに開催し、生後赤ちゃんから人へ、劇的に変化する各時期に寄り添うためのノウハウは少しずつ確立されてきた。

新たな人材による講座も増えた。参加者の中に睡眠アドバイザーの資格を持つ人が会員に加わり、講師としてねんね講座を開設。過去に支援してきた子育て中の鍼灸師さんが、小児鍼の講座を申し出られた。絵本アドバイザーさんが、はんもっくのホームページを見て活動を評価して入会され、絵本の読み聞かせが行なわれるなど、特徴を持った多様なメニューを参加者に提供できるようになった。

定例会は毎月第1月曜日に開催している。オンラインの併用により、参加者は増え、その都度上がった問題についての話し合いや決まったことの共有が進んだ。

当団体は、1歳～3歳児の親子遊びを地域で展開してきた。3歳児は幼稚園・保育所に入所するため在宅で子育てされている児は少なくなった。1歳～2歳児に、活動を案内する機会は少なかったが、はんもっくのおうちを卒業後の行き場所として案内できるようになった。またきょうだいのいる赤ちゃんがおうちで、体育館遊びや室内遊びの活動を知って参加されるようになった。

表. 定例会参加者数

| 月日 | スタッフ人数 |
|-------|--------|
| 4月6日 | 9 |
| 5月9日 | 12 |
| 6月6日 | 14 |
| 7月4日 | 11 |
| 9月5日 | 10 |
| 10月3日 | 10 |
| 11月7日 | 8 |
| 12月5日 | 12 |
| 1月16日 | 12 |
| 2月6日 | 9 |
| 3月6日 | 15 |
| 合計 | 122 |
| 平均 | 11.1 |



Ⅲ. 課題と今後に向けて

1. 0歳児の月齢に応じた支援内容を公表できる形にする

出生後から1歳まで、0歳の間には赤ちゃんは大きく成長する。その成長に合わせて、養育者は関わり方を変えながら、心身の発達や社会性の発達を促す。月齢によって発達段階は異なり、こういった動きが次につながり、どのような関わり方がより成長を促し、今後に影響を及ぼすかがわかると、子育ての大事さや楽しさがより理解できるはずである。

大事なことは共通で、触れ合いや話しかけを行い、赤ちゃんが心地よく過ごして、できるようになったことをいっしょに喜び、いろいろな遊びを試してみることである。個々の赤ちゃんの具体的なポイントを押さえ、さりげなく見本を示し、母や父の行動につなげることは0歳児支援の最も重要なことと考えられる。

2～3か月の時期は、赤ちゃんの表現を読み取って心地よい状況を作ることが大事である。個々の赤ちゃんの居心地の良い体位を探し、触れ合いや顔をよく見せて話しかける。4か月を過ぎると、赤ちゃんは徐々に「見て学ぶ」「自分の面白いと思うことをやろうとする」ようになるため、心地よい状況に加えて、体にも心にもほどよい刺激が必要になる。

8～9か月のころには、母や父など主な養育者をしっかり認識し、その人と気持ちを通じ合わせるようになる。自分の興味のある物に対して、大人が好ましいと思っていることを示せば安心し、良くないと思うことを示せば止めた方がいいと感じるようになる。赤ちゃんの興味関心に合わせて一緒に遊び、体を動かし、語りかけることが次の発達につながる。

1歳前後になると、一人で歩き始め、自分がしたいことが増え、同時に大人が児の行動を止めることも増えてくる。単に可愛いだけでは済まない時期に入り、子どもに振り回されすぎず、発達を促す方法論も役立つ。

以上のように、月齢と個々の発達段階に合わせて赤ちゃんを健やかに育てるためのポイントはかなり把握できた。また母体も授乳が終わるまで児の影響を受け続け、大きく変化する。母の変化を支えることも0歳児への支援として大事である。これらのことを、子育てに関わる人たちにわかりやすく説明し、より広く充実した支援ができるようになることが、次の課題である。

2. 活動の広報

令和4年度も後半には、オープンスペースの参加者が増え、講座の申込も増えてきた。今年度の参加者アンケート(図14)では、「はんもっくのおうち」を知る方法として、ホームページが最も多く、次いで助産師、もみじだより、友だちの紹介が多かった。市内では団体の周知が進んだことと口コミの力が大きいことが推察された。今後はSNSを活用する世代に向けた広報が課題である。

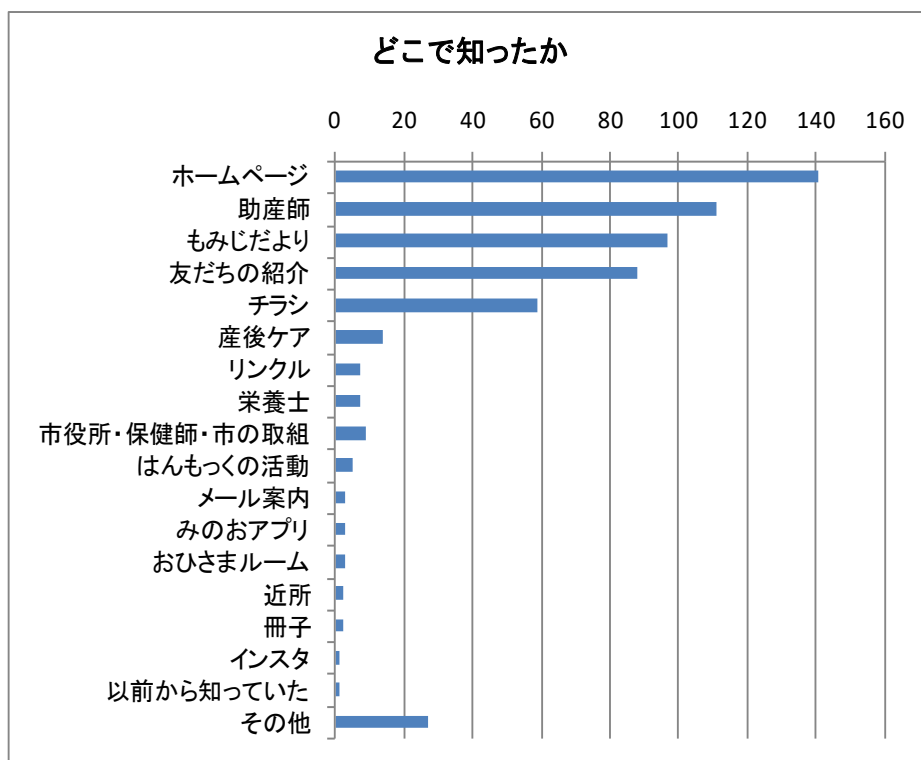


図 14. おうち参加者アンケート どこで活動を知ったか

3. 活動資金

3年間 WAM 助成を受けて、コロナ禍で参加者が少なかった時期もスタッフが常駐して運営が可能であり、その間に様々な知見を得ることができた。多様な講座や相談体制も可能となり、受け入れ体制としての充実を図ることができたが、オープンスペースは参加費が無料で、講座の費用も安価にしているため、このままでは資金面で厳しい。

今後は利用者を増やすとともに、知見をまとめ、0歳児支援者への指導を資金源としたい。赤ちゃんフェスタ開催については、企業協賛を検討または地域活動に対する助成金申請などを検討したい。令和4年度に箕面市から受託するようになった産後ケア事業の利用者を増やす。またオープンスペースの意義を市に説明し、公的な位置づけを求めていきたい。

4. 地域連携

令和4年度の赤ちゃんフェスタでは、行政やその他の支援団体の参加を得て開催することができた。50組を超える参加者があり、今年度の実績を元に開催を重ね、さらに地域の団体の参加や、相互の広報など、内容の充実と連携を深めたい。

地元の自治会では、当初回覧板で開催案内を提示したが、コロナ禍で募集を控えていたこともあり、定期的に案内はできていない。地元町内の参加者も多いので、地域全体が子育て中の親子に声かけされるような町づくりにも取り組んでいきたい。

5. 0歳児の支援体制に必要な資源の理解

図 15 は令和 2 年度に作成し、本取り組みの中心になる考え方が、助産師と小児科医に加えて、栄養士や作業療法士、睡眠アドバイザーや絵本アドバイザーや BP トレーナーなど多彩な人材が揃ってきた。先輩ママの存在も大きく、体験談や地元情報など正しさや子どものためだけにこだわらない会話も、核家族で子育てする親への支援として大事である。保育所では保育士の配置基準があるが、数えられない地域の人的資源が必要であることの理解を社会に伝えたい。

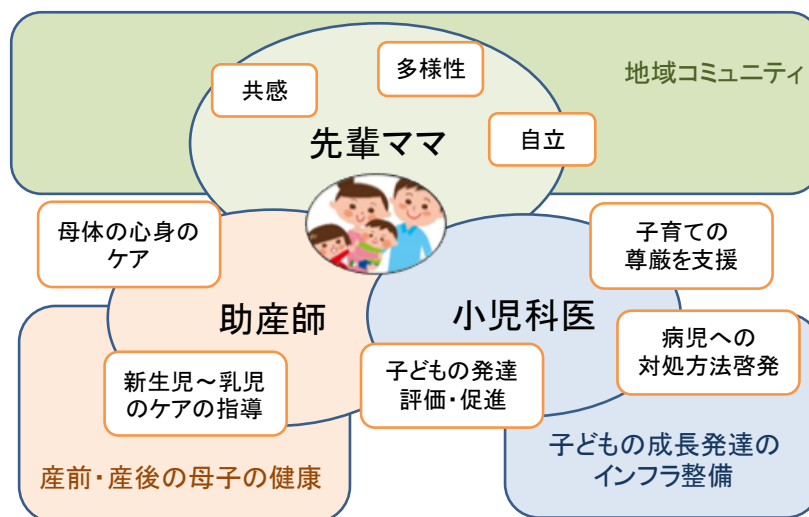


図 15. 先輩ママと助産師と小児科医の連携

おわりに

現代日本社会は、簡単・便利・効率性やスピードを重視し、過去に比べ快適な生活を過ごしている。しかし、このような考え方に基づく生活環境が、子育てに合わないことはあまり知られていない。子どもの成長には 10～20 年の歳月が必要であり、人を信頼し助け合い自立した考え方を持つ大人を育てるには、人との関わりや様々な体験が必要である。便利とは手間をかけないことであり、子どもが日常生活で動き考える作業は激減し、人と出会う機会も縮小した。子育ても、できるだけ人手にかかるコストを削減し、簡単で手間を省いた効率のよい方法で育てたいといった風潮を感じることもある。

子育ては未来を育てる創造的行動であり、未来社会に向けて人も時間もお金も投資する価値がある。今の社会の中に、子どもが育つ環境を創ることが必要で、手間をかけることや人と関わることを楽しめる工夫が求められている。赤ちゃんを育てるにも、人を通じて学ぶことが必要という考え方を広報し、赤ちゃんと関わることは楽しく意義のあることという認識を社会で共有したい。今ある地域と専門職の連携が、母子を支える環境整備ができるよう、これからも励んでいきたい。

2023（令和 5）年 3 月
福井聖子

作成：2023年3月

編集：NPO法人 はんもっく

<https://minoh-hammock.jimdo.com>

問い合わせ：E-mail:hammock_minoh24@yahoo.co.jp

